

カレンダーを捨てる時やめくる時など、廃棄時  
身体を傷つけないようご注意ください。

印刷の都合などにより掲載内容の一部変更がある場合がございます。

掲載内容は2019年2月現在のものです。

この冊子には著作権の権利があります。無断で複製、貸与、転売は  
固くお断りいたします。

環境に配慮し、緑色紙・無塩漂白紙を使用した印刷を使用しています。

発行枚数の表示は2018年10月現在のものです。

©TOPPAN PRINTED IN JAPAN

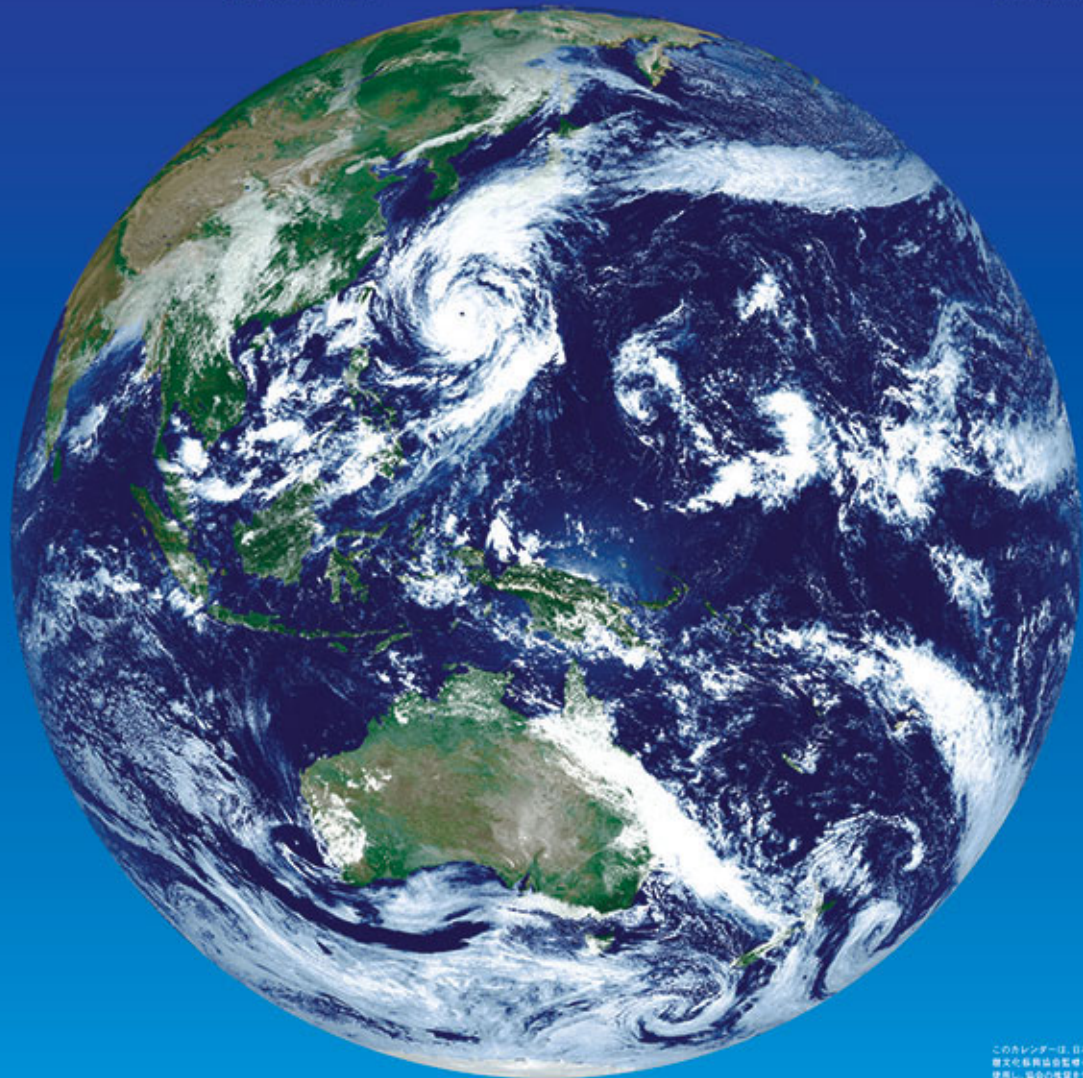
天候とくらし

# 気象暦

2020 CALENDAR

資料・監修／一般財団法人 日本気象協会

2017年10月、オロサン湖島で発生した台風21号は、21日から22日にかけて日本の南を北上し、23日17時頃、超大型・強い勢力で伊豆半島南端付近に上陸した。1991年に気象庁が台風の大きさを強風域の半径で  
測定してから、初めて超大型を維持したまま上陸した台風となった。台風や本所付近に停泊した船舶の影響により、21日から23日にかけて広島地方や東海地方を中心に300人以上を巻き込む記録的な大雨となった。  
和歌山県新宮市では48時間に488.3ミリ、三重伊勢志摩では339.8ミリを記録し観測史上最大の量を記録した。この台風の影響で、全国各地で断水や電気の不通やハイウェイに被害が発生したほか、鉄道や道路や  
航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。22日に発生を予定していた東南海トラフの元来軌跡の欠航で難波から奈良駅まで運ばれたことなどが理由で、一部の自治体が防災作業を停止し、被害するなど全国  
12の全道県で被害に影響が出た。  
(2017年10月21日11時の可視衛星)



このカレンダーは、日本気象協会  
環境文化財団協会の協賛により  
印刷し、協会の施設を付けています。



JMA  
SG-285



©2020 株式会社 日本気象協会

気象庁 気象予報士 日本気象協会

# 2020 1 睦月

シベリアからの寒気の吹出しは最盛期を迎える。北西季節風が日本海を吹き渡る間に大量の水分を含み、雪雲を発達させる。日本列島の山脈にぶつかり、日本海側に豪雪をもたらすこともある。冬の積雪は、山脈に蓄えられた貴重な水資源でもあり、補給を支える。山脈の風下にある太平洋側は乾燥した北西風によって晴天が続く。冬の季節風は「なま風（あなじ）からっ風（よそ風）」など地域独自の名前前で呼ばれている。

## ウメ

バラ科の高木。中国原産。1月から3月にかけて香りの良い花を咲かせ、春を告げる花として馴染み深い。古くから觀賞用として親しまれており、万葉集でも百首を超える梅の歌が詠まれている。花が散った後に実をつける。実は食用とされ、梅干しや梅酒などに加工される。



## メジロ

メジロ科の鳥。全国の平地から山地に生息し、一年を通して観察できる。全体に緑がかった体色で、目の周りに白い縁取りがあることが名の由来とされる。鳴き声は「チーチー」。昆虫や果実を餌とするほか、花の蜜や樹液を吸う。早春には梅の花に集まる様子を見ることが出来る。



地名	日付	日の出	日の入	夜明け	日没
札幌 (函館港)	1日	07:06	16:10	07:37	18:29
	10日	07:05	16:18	04:05	14:24
	20日	07:01	16:30	00:08	10:43
東京	1日	06:50	16:38	09:04	19:51
	10日	06:51	16:46	05:22	16:01
	20日	06:49	16:55	02:08	12:24
大阪	1日	07:05	16:58	11:49	—
	10日	07:06	17:05	07:22	17:54
	20日	07:03	17:14	06:35	14:43
福岡 (下関港)	1日	07:23	17:21	00:10	13:28
	10日	07:23	17:28	09:45	20:48
	20日	07:21	17:37	06:06	17:26

日・SUN	月・MON	火・TUE	水・WED	木・THU	金・FRI	土・SAT
<b>1</b> 晴 石巻島、スミレの開花の頃 静岡、ツバキの開花の頃	<b>2</b> 晴 鹿児島、初雪の頃	<b>3</b> 友引 長崎、ツバキの開花の頃 東京、初雪の頃	<b>4</b> 先負 南大東島で最も早いサクラの開花 (2002年)	<b>5</b> 弘滅 那覇、ツバキの開花の頃 横浜、スイセンの開花の頃	<b>6</b> 小年 先負 佐賀、スイセンの開花の頃 高松、初冠雪 (高見山) の頃	<b>7</b> 赤口 晴 鹿児島、初雪の頃 鹿児島、スイセンの開花の頃
<b>8</b> 先勝 石巻島、スミレの開花の頃 静岡、ツバキの開花の頃	<b>9</b> 友引 鹿児島、初雪の頃 鹿児島、スイセンの開花の頃	<b>10</b> 先負 長崎、ツバキの開花の頃 東京、初雪の頃	<b>11</b> 弘滅 那覇、ツバキの開花の頃 横浜、スイセンの開花の頃	<b>12</b> 大安 佐賀、スイセンの開花の頃 高松、初冠雪 (高見山) の頃	<b>13</b> 赤口 成人の日 三河地蔵 (1945年) 津、スイセンの開花の頃	<b>14</b> 先勝 鹿児島、初雪の頃 鹿児島、スイセンの開花の頃
<b>15</b> 友引 高松、ツバキの開花の頃 那覇、ウメの開花の頃	<b>16</b> 先負 石巻島、サクラの開花の頃	<b>17</b> 弘滅 那覇、ツバキの開花の頃 平成7年兵庫県南部地震	<b>18</b> 土曜 大安 高松、ツバキの開花の頃 高松、初冠雪 (高見山) の頃	<b>19</b> 赤口 那覇、サクラの開花の頃	<b>20</b> 先勝 鹿児島、初雪の頃 鹿児島、スイセンの開花の頃	<b>21</b> 友引 鹿児島、初雪の頃
<b>22</b> 先負 宮崎、ウメの開花の頃 水戸、ツバキの開花の頃	<b>23</b> 弘滅 那覇、ツバキの開花の頃	<b>24</b> 大安 鹿児島、初雪の頃 鹿児島、スイセンの開花の頃	<b>25</b> 先勝 鹿児島、初雪の頃 鹿児島、スイセンの開花の頃	<b>26</b> 友引 宮崎、ツバキの開花の頃 東京、ウメの開花の頃	<b>27</b> 先負 昭和38年1月豪雪	<b>28</b> 弘滅 大分、ウメの開花の頃
<b>29</b> 大安 佐賀、ウメの開花の頃	<b>30</b> 赤口 昭和45年1月徳島県 名瀬、サクラの開花の頃	<b>31</b> 先勝 鹿児島、ウメの開花の頃 那覇、ウメの開花の頃	<b>31</b> 先勝 鹿児島、ウメの開花の頃 那覇、ウメの開花の頃	<b>31</b> 先勝 鹿児島、ウメの開花の頃 那覇、ウメの開花の頃	<b>31</b> 先勝 鹿児島、ウメの開花の頃 那覇、ウメの開花の頃	<b>31</b> 先勝 鹿児島、ウメの開花の頃 那覇、ウメの開花の頃

気象庁の気象予報士による、気象庁の気象予報士による気象予報に基づく気象予報です。掲載内容は2019年2月現在のものです。

流水初日 ● 気象台から初めて流水が見えた日。毎年1月20日直後にホウアツ海苔で観測される。寒害の地域で凍結した海水が、風や波によって砕かれて、凍っていない海へ漂流してくる。管内では2006年4月5日に、半年より約2ヶ月遅れで流水初日を見た。これは観測史上最も遅い記録である。



写真:大塚隆二/写真家

写真:大塚隆二/写真家

# 2020 2 如月

「立春」を過ぎてもオホホーツク海は海水に覆われ、北海道では厳寒の日々が続く。内陸や盆地では暗れた夜の冷え込みが特に厳しい。大森からの寒気の吹き出しが続き、日本海側の地方では雪の日が多い。本州以南では、「春一番」と呼ばれる強い南風により、一時的に昇温することもあるが、翌日には寒気が流れ込んで寒さが再び返す。西日本や東海、関東地方ではウメがはこび始め、日舞のゆびに春を感じる。一方でスギ花粉が飛び始め、花粉症患者には憂鬱な季節がやってくる。

### スイセン

ヒガンバナ科の多年草。地中海沿岸が原産。中国を経由して日本に渡来し、野生化したとされる。観賞用としても親しまれ、主に球根から栽培される。冬から春にかけて、白や黄色の花を咲かせて、庭を彩る。葉がニラ。球根がタマネギに似るが、有毒なため、誤食しないよう注意が必要。



### トウホクノウサギ

ウサギ科の動物。主に本州の日本海側などに分布。平地から山地の森林や草原に生息する。単独で行動し、夜行性で昼間は木の根元や岩かげなどで休む。草本の葉や芽などの植物を食べる。目の長さに関連して毛色に変化するとされ、夏毛は茶色だが、冬は耳の先を残して白くなる。



地名	日付	日の出	日の入	満潮	干潮
札幌 (道庁庁舎)	1日	06:51	16:46	07:40	19:54
	10日	06:40	16:58	04:52	15:51
	20日	06:26	17:11	03:05	12:37
東京	1日	06:42	17:08	09:01	21:23
	10日	06:34	17:17	06:15	17:24
	20日	06:23	17:27	04:15	14:27
大阪	1日	06:57	17:26	11:32	—
	10日	06:49	17:35	09:10	19:33
	20日	06:39	17:45	07:36	16:33
福岡 (下関港)	1日	07:15	17:49	01:00	13:16
	10日	07:08	17:57	10:44	22:20
	20日	06:58	18:07	08:32	19:38

## 日・SUN 月・MON 火・TUE 水・WED 木・THU 金・FRI 土・SAT

■日付欄の中の「津、ウメの開花の頃」などの季節現象の説明は、その日が過去30年間の観測平均日であることを示し、その頃そこで起こりやすいことを示す一つの目安です。

記号の説明  
 ① 晴 ② 曇 ③ 雨 ④ 雪

■日付欄の中に表示した天気記号は、過去30年間で、その日に比較的よく現れた天気を示したものです。

<b>2</b> 先負 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>名古屋、ウメの開花の頃 福岡、ウメの開花の頃</small>	<b>3</b> 弘滅 <small>部分 札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>神戸、スイセンの開花の頃</small>	<b>4</b> 大安 <small>二市 札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>和歌山、ツバキの開花の頃 静岡、タンポポの開花の頃</small>	<b>5</b> 赤口 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>奈良、ウメの開花の頃 石垣島、サクラの満開の頃</small>	<b>6</b> 先勝 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>広島、ウメの開花の頃 徳島、ウメの開花の頃</small>	<b>7</b> 友引 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>宮城、降雪の頃 熊谷、ツバキの開花の頃</small>	<b>8</b> 先負 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>東京で最深積雪46cm(1883年) 水戸、スイセンの開花の頃</small>
<b>9</b> 弘滅 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>東京、ツバキの開花の頃 宮古島、サクラの満開の頃</small>	<b>10</b> 大安 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>奈良、ヒバリの初鳴の頃 大塚、ウメの開花の頃</small>	<b>11</b> 赤口 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>建設記念の日</small>	<b>12</b> 先勝 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>下関、結氷終わりの頃 和歌山、ウメの開花の頃</small>	<b>13</b> 友引 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>奈良、ツバキの開花の頃 和山、ヒバリの初鳴の頃</small>	<b>14</b> 先負 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>伊勢山で最深積雪1182cm(1927年) 奈良、ツバキの開花の頃</small>	<b>15</b> 弘滅 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>高知、タンポポの開花の頃</small>
<b>16</b> 大安 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>前橋、ヒバリの初鳴の頃 天気図作成第1号(1883年)</small>	<b>17</b> 赤口 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>福岡、ヒバリの初鳴の頃 厚狭、ウメの開花の頃</small>	<b>18</b> 先勝 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>福井、ツバキの開花の頃 足尾、降雪の頃</small>	<b>19</b> 友引 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>高知、降雪の頃 熊谷、ヒバリの初鳴の頃</small>	<b>20</b> 先負 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>京都、ウメの開花の頃 松山、タンポポの開花の頃</small>	<b>21</b> 弘滅 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>名古屋、ツバキの開花の頃 えびの地震(1968年)</small>	<b>22</b> 大安 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>宮古島、ウグイスの初鳴の頃 岐阜、ヒバリの初鳴の頃</small>
<b>23</b> 赤口 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>天皇誕生日</small>	<b>24</b> 友引 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>振替休日</small>	<b>25</b> 先負 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>宮崎、ウグイスの初鳴の頃 興、降雪の頃</small>	<b>26</b> 弘滅 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>熊本、ウグイスの初鳴の頃 広島、ヒバリの初鳴の頃</small>	<b>27</b> 大安 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>群馬、ヒバリの初鳴の頃 大分、降雪の頃</small>	<b>28</b> 赤口 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>奈良、降雪の頃 京都、タンポポの開花の頃</small>	<b>29</b> 先勝 <small>札幌 東京 ① ① 大塚 福岡 ① ①</small> <small>鳥取、ヒバリの初鳴の頃</small>

初日別の気象により、日中・夜間・行先が一変することもあります。掲載内容は2019年2月現在のものです。



2020年 3月

2020年 3月 3日 水曜日

# 2020 3 弥生

雪深い日本海側の山々が目を覚ます。雪解けが始まり、全層雪崩が起こりやすくなる。雪では小さな昆虫の活動が始まり、小鳥たちも動き出す。本所以南ではウグイスのさえずりが聞こえてくる頃。移動性高気圧に覆われると、さらさらとした陽気になるが、陰雨天が続く。寒梅の開花が多かった地域では、暖かくなるにつれて雨の量が多くなり、その雨が植物の生長を促す。旬には関東以西でサクラが開花し、本格的な春の到来を実感できる。

## ボケ

バラ科の落葉低木、中国原産。觀賞用として、庭木や盆栽などで広く栽培され、数多くの品種がある。葉に先立って五分の花を咲かせる。花色は赤やピンク、白などで鮮やか。実は黄色で夏に熟し、香りがある。乾燥させたものはモックと呼ばれ、生薬に用いられる。



## ドジョウ

ドジョウ科の魚。日本各地の小川や沼、水田などに生息する。水深の浅いところに棲み、エラのほかにも呼吸もすることが特徴。春から夏にかけて産卵する。食用として養殖され、ゴボウと煮て粥でとじる柳川鍋が有名。環境の変化によりその数は減少しており、絶滅が危ぶまれる。



地名	日付	日の出	日の入	満潮	干潮
札幌 (函館港)	1日	06:11	17:24	06:43	19:34
	10日	05:55	17:35	04:12	15:50
	20日	05:38	17:47	02:34	12:35
東京	1日	06:11	17:36	08:01	21:01
	10日	05:59	17:44	05:43	17:24
	20日	05:45	17:53	03:49	14:33
大阪	1日	06:27	17:54	10:21	23:46
	10日	06:15	18:02	07:34	19:24
	20日	06:02	18:10	06:34	16:33
福岡 (下関港)	1日	06:47	18:15	10:23	22:14
	10日	06:35	18:22	10:12	22:11
	20日	06:22	18:30	09:09	19:29

日・SUN	月・MON	火・TUE	水・WED	木・THU	金・FRI	土・SAT	
<b>1</b> 友引 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>2</b> 先負 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>3</b> 仏滅 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>4</b> 大安 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>5</b> 赤口 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>6</b> 先勝 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>7</b> 友引 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	
横浜、静岡の満 松江、ウグイスの初鳴の満	富山、ウメの開花の満 多度津、静岡の満	昭和三種地蔵津波M8.1(1933年) 徳島、タンポポの開花の満	和歌山、静岡の満 福岡、ウグイスの初鳴の満	富山、静岡の満 大分、モンシロチョウの初見の満	静岡、ウグイスの初鳴の満 鹿児島、ツバメの初見の満	名古屋、静岡の満 熊手、ヒヨリの初鳴の満	
<b>8</b> 先負 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>9</b> 仏滅 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>10</b> 大安 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>11</b> 赤口 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>12</b> 先勝 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>13</b> 友引 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>14</b> 先負 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	
下関、ウグイスの初鳴の満 徳島、タンポポの開花の満	静岡、ウグイスの初鳴の満 静岡、ウグイスの初鳴の満	仙台、ツバメの開花の満 甲府、ウグイスの初鳴の満	広島、静岡の満 石巻、ツバメの初見の満	広島、結核終わりの満 岡山、静岡の満	水戸、タンポポの開花の満	高知、ヒヨリの初鳴の満 水戸、静岡の満	
<b>15</b> 仏滅 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>16</b> 大安 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>17</b> 赤口 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>18</b> 先勝 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>19</b> 友引 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>20</b> 春分の日 先負 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>21</b> 仏滅 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	
新潟、ウメの開花の満 富山、ヒヨリの初鳴の満	宇都宮、スイセンの開花の満 四日市、静岡の満	新潟、タンポポの開花の満 京都、ツバメの開花の満	静岡、モンシロチョウの初見の満 津、タンポポの開花の満	奈良、タンポポの開花の満	秋田、静岡の満 甲府、ヒヨリの初鳴の満	福岡、ヒヨリの初鳴の満 甲府、モンシロチョウの初見の満	
<b>22</b> 大安 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>23</b> 赤口 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>24</b> 先負 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>25</b> 仏滅 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>26</b> 大安 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>27</b> 赤口 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>28</b> 先勝 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	
長野、ヒヨリの初鳴の満 高知、サクラの開花の満	名古屋、モンシロチョウの初見の満 熊本、サクラの開花の満	福岡、ツバメの初見の満 金沢、ウグイスの初鳴の満	津、モンシロチョウの初見の満 新潟、シグレヤナギの発芽の満	鹿児島、サクラの開花の満 金沢、シグレヤナギの発芽の満	金沢、結核終わりの満 越前沖津地震(1963年)	福岡、結核終わりの満 神戸、サクラの開花の満	
<b>29</b> 友引 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>30</b> 先負 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	<b>31</b> 仏滅 札幌 東京 ● 大阪 ● 福岡 ●	■日付欄の中の「横浜、静岡の満」などの季節現象の説明は、その日が過去30年間の観測平均日であることを示し、その頃そこで起こるやすうことを示す一つの目安です。			記号の説明 ● 晴 ● 曇 ● 雨 ● 雪 ■ 日付欄の中に表示した天気記号は、過去30年間で、その日に比較的好く現れた天気記号を示したものです。	
富山、静岡の満 神戸、ツバメの初見の満	新潟、静岡の満 高知、シヨリの初見の満	熊手、サクラの開花の満 有馬山噴火(2000年)	春に三日の曇れなし●春は晴れの目が三日以上続くことはないという意味。シベリア大陸の寒気が弱まると、冬の気圧配置は緩かなくなり、日本付近を高気圧・低気圧が交互に連なるようになる。天気は短い周期で変わり、冬に晴天が続いた地域でも頻りに雨や雪が降る。			ネコヤナギ●北海道から九州までの水辺などに「野生しー3mほどに生長するサカサマ科の植物。ネコヤナギの種数は、ふわふわした白い綿毛のようなもの。これはネコヤナギの花で、花穂(かすい)と呼ばれる。ネコヤナギは早春に花穂が開くため、春の訪れを知らせる花として親しまれている。	

気象庁の改正により、1979年5月1日～1989年4月30日までの観測データは2019年2月現在0.4mです。



東の吹雪-アムラ/ 読者

鳥類 - 桜 - 桜の鳥類 日本鳥類学会

# 2020 4 卯月

### サクラ

バラ科の落葉高木または低木で、サクラ属の植物の総称。春の花木の代表として、全国の公園や庭園、街路樹などでよく見られる。野生種や園芸品種などが多く存在。有名なツメイロシノは、オオシマザクラとエドヒガンザクラの交配種で、花見の花として全国的に親しまれている。



### シジュウカラ

シジュウカラ科の鳥。全国の平地や山地の森林に生息し、市街地でも一年を通してよく見られる。頭部が黒く、胸にあるネクタイのような黒い帯が特徴的。種子や昆虫などを食べ、「ツツビー、ツツビー」とさえずる。果は樹洞などに作るほか、市街地ではブロック塀なども利用する。



季節的風向  
東北気流のシチュウカラ

北風よりも南風の吹く日が多くなる。月末にかけての気温上昇は年間でも最も大きい。太平洋からの南風が山を越えて日本海側に吹き下り、顕著な昇温を引き起こす。フェーン現象とも呼ばれる。風下側の乾燥した空気が山火事を拡大させ、貴重な森林資源が失われることも。サクラ前線は東北地方を北上。ツツメの姿も見られるようになる。海の水が温かくなり、潮干狩りなどの行楽に適する。天気は3〜4日の間隔で変化し、寒暖の変化が大きく、晩霜のおそれもある。

地名	日付	日の出	日の入	満潮	干潮
札幌 (国定)	1日	05:17	18:01	06:53	—
	10日	05:01	18:11	04:19	17:18
	20日	04:45	18:23	02:22	14:17
東京	1日	05:28	18:03	08:01	—
	10日	05:15	18:10	05:55	18:53
	20日	05:02	18:18	03:50	15:50
大阪	1日	05:45	18:19	07:49	—
	10日	05:33	18:26	08:02	20:52
	20日	05:20	18:34	05:48	17:42
福岡 (下関港)	1日	06:06	18:39	01:40	13:00
	10日	05:54	18:46	10:41	23:32
	20日	05:42	18:53	08:27	20:26

日・SUN	月・MON	火・TUE	水・WED	木・THU	金・FRI	土・SAT
<b>1</b> 大安 <small>1968年日向灘地震 長野、シダレヤナギの発芽の頃</small>	<b>2</b> 大安 <small>長野、スミシロの発芽の頃 高崎、イチヨウの発芽の頃</small>	<b>3</b> 先勝 <small>松江、結氷終わりの頃 名古屋、サクラの満開の頃</small>	<b>4</b> 友引 <small>奈良、イチヨウの発芽の頃 長野、タンポポの発芽の頃</small>	<b>5</b> 先負 <small>下関、サクラの満開の頃 岡山、サクラの満開の頃</small>	<b>6</b> 凶減 <small>名古屋、イチヨウの発芽の頃 新潟、クワの発芽の頃</small>	<b>7</b> 大安 <small>岡山、タンポポの満開の頃 仙台、鈴雪の頃</small>
<b>8</b> 先勝 <small>長崎、ヤマブツジの満開の頃 徳島、ノダフジの満開の頃</small>	<b>9</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>	<b>10</b> 先負 <small>長崎、ヤマブツジの満開の頃 徳島、ノダフジの満開の頃</small>	<b>11</b> 友引 <small>新潟、クワの発芽の頃 金沢、ヤマブツジの満開の頃</small>	<b>12</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>	<b>13</b> 先勝 <small>新潟、クワの発芽の頃 金沢、ヤマブツジの満開の頃</small>	<b>14</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>
<b>15</b> 先勝 <small>長崎、ヤマブツジの満開の頃 徳島、ノダフジの満開の頃</small>	<b>16</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>	<b>17</b> 先勝 <small>新潟、クワの発芽の頃 金沢、ヤマブツジの満開の頃</small>	<b>18</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>	<b>19</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>	<b>20</b> 先勝 <small>新潟、クワの発芽の頃 金沢、ヤマブツジの満開の頃</small>	<b>21</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>
<b>22</b> 先勝 <small>新潟、クワの発芽の頃 金沢、ヤマブツジの満開の頃</small>	<b>23</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>	<b>24</b> 先勝 <small>新潟、クワの発芽の頃 金沢、ヤマブツジの満開の頃</small>	<b>25</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>	<b>26</b> 先勝 <small>新潟、クワの発芽の頃 金沢、ヤマブツジの満開の頃</small>	<b>27</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>	<b>28</b> 先勝 <small>新潟、クワの発芽の頃 金沢、ヤマブツジの満開の頃</small>
<b>29</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>	<b>30</b> 先勝 <small>新潟、クワの発芽の頃 金沢、ヤマブツジの満開の頃</small>	<b>31</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>	<b>32</b> 先勝 <small>新潟、クワの発芽の頃 金沢、ヤマブツジの満開の頃</small>	<b>33</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>	<b>34</b> 先勝 <small>新潟、クワの発芽の頃 金沢、ヤマブツジの満開の頃</small>	<b>35</b> 凶減 <small>新潟、鈴雪の頃 熊谷、イチヨウの発芽の頃</small>

気象庁の気象予報士による。気象庁の気象予報士による。気象庁の気象予報士による。気象庁の気象予報士による。



和歌山県 和歌山

和歌山県 和歌山

# 2020 5 月

新芽が陽光に輝き、北海道ではサクラが咲き始める。快適な陽気の日が多く、初夏のカラッとした晴天は万人に好まれる。田んぼには水が入り、田植えが行われる各地の晴天率は5割前後。行楽シーズンでもあるので、紫外線を浴びすぎないように用心が必要になる。パレードウィークは、野鳥を巡って自然保護の大切さを広めることが目的である。この時期は鳥の繁殖期にもあたる。南の海には梅雨前線が現れ、沖縄では早くも梅雨のシーズンとなる。

### ハマナス

バラ科の落葉低木。北海道および本州に分布。海岸の砂地に自生するほか、庭木や鉢植えでも栽培される。初夏から夏にかけて枝先に、香りのある大きな五弁の花を咲かせる。夏にナシに似た赤い果実をつけることから「浜梨」と呼ばれ、それがなまってハマナスとなったとされる。



### アオスジアゲハ

アゲハチョウ科の昆虫。主に本州以南の平地から山地に生息し、市街地にも現れる。極めて速く飛び、その名の通り黒地の翅（はね）に青い筋が走る。成虫は年に3回発生し、春から秋にかけて見ることができ、幼虫はクスリの葉を食草とする。さなぎの状態で越冬し春を持つ。



地名	日付	日の出	日の入	満潮	干潮		
札幌 (函館港)	1日	04:28	18:36	07:22	23:49	01:23	16:01
	10日	04:17	18:46	04:15	18:03	11:21	23:04
	20日	04:06	18:57	01:45	14:42	08:26	20:09
東京	1日	04:49	18:28	08:52	-	04:52	17:28
	10日	04:40	18:35	05:47	19:38	00:25	12:44
	20日	04:32	18:43	03:20	16:08	09:49	21:59
大阪	1日	05:08	18:43	04:04	-	-	20:00
	10日	04:59	18:50	07:55	21:46	02:16	15:06
	20日	04:52	18:58	05:23	18:08	11:58	23:55
福岡 (下関港)	1日	05:30	19:02	03:06	14:46	08:51	21:51
	10日	05:22	19:08	10:41	-	04:54	17:15
	20日	05:15	19:16	08:00	20:35	01:46	14:08

日・SUN	月・MON	火・TUE	水・WED	木・THU	金・FRI	土・SAT
<b>■</b> 日付欄の中の「秋田、ヤマツジの開花の頃」などの季節現象の説明は、その日が過去30年間の観測平均日であることを示し、その頃そこで起こりやすいことを示す一つの目安です。	<b>記号の説明</b>  <b>■</b> 日付欄の中に表示した天気記号は、過去30年間で、その日に比較的よく現れた天気を示したものです。	<b>■</b> 5月5日のこどもの日に欠かさないのが、ちまきと柏餅。ちまきの由来は古代中国からであるが、柏餅は江戸時代に江戸で生まれたものである。地域によりどちらが多く食べられるが、どちらも端午の節句の縁起のよい食べ物として、今もなお多くの人に親しまれている。	<b>■</b> 毎年5月2日の「八十八夜」の頃に摘まれる茶葉を新茶という。茶の生育には様々な条件が求められる。降水量は年間1,300mm程度、平均気温は14~16℃程度であることが望ましい。日本における茶葉の栽培北限は新潟県村上市と茨城県大子町とされている。	<b>1</b> 八十八夜 <b>赤口</b>	<b>2</b> 先勝	<b>3</b> 友引
<b>3</b> 友引 <b>■</b> 薬法記念日	<b>4</b> 先負 <b>■</b> みどりの日	<b>5</b> 二重 <b>■</b> 仏滅 <b>■</b> こどもの日	<b>6</b> 大安 <b>■</b> 重陽の日	<b>7</b> 赤口	<b>8</b> 先勝	<b>9</b> 友引
<b>10</b> 先負 <b>■</b> 観音、経筒の頃 <b>■</b> 札幌、サクラの開花の頃	<b>11</b> 仏滅 <b>■</b> 山形、サクラの開花の頃 <b>■</b> 管内、経筒の頃	<b>12</b> 大安 <b>■</b> 鹿児島、シオカラトンボの初見の頃 <b>■</b> 福井、ヤマツジの開花の頃	<b>13</b> 赤口 <b>■</b> 長野、シロツメクサの開花の頃 <b>■</b> 舞鶴、キアゲハの初見の頃	<b>14</b> 先勝 <b>■</b> 新潟、サクラの開花の頃 <b>■</b> 旭川、サクラの開花の頃	<b>15</b> 友引 <b>■</b> 長野、トノサマガエルの初見の頃 <b>■</b> 旭川、結氷終わりの頃	<b>16</b> 先負 <b>■</b> 管内、タンポポの開花の頃 <b>■</b> 1974年伊豆半島地震
<b>17</b> 仏滅 <b>■</b> 札幌、ライラックの開花の頃 <b>■</b> 京都、カキの開花の頃	<b>18</b> 大安 <b>■</b> 青森、ノダフジの開花の頃 <b>■</b> 函館、ヤマツジの開花の頃	<b>19</b> 赤口 <b>■</b> 水戸、シオカラトンボの初見の頃 <b>■</b> 秋田、キアゲハの初見の頃	<b>20</b> 小満 <b>■</b> 先勝 <b>■</b> 山形、キアゲハの初見の頃 <b>■</b> 宮崎、シオカラトンボの初見の頃	<b>21</b> 友引 <b>■</b> 管内、サクラの開花の頃 <b>■</b> 秋田、ノダフジの開花の頃	<b>22</b> 先負 <b>■</b> 津、ハルゼミの初鳴の頃 <b>■</b> 旭川、経筒の頃	<b>23</b> 仏滅 <b>■</b> 1968年十勝沖地震 <b>■</b> 舞鶴、シオカラトンボの初見の頃
<b>24</b> 大安 <b>■</b> 札幌、ライラックの開花の頃 <b>■</b> 京都、カキの開花の頃	<b>25</b> 赤口 <b>■</b> 宇都宮、カキの開花の頃 <b>■</b> 管内、ヤマツジの開花の頃	<b>26</b> 先勝 <b>■</b> 伊勢、シオカラトンボの初見の頃 <b>■</b> 昭和8年日本海中部地震	<b>27</b> 友引 <b>■</b> 和歌山、ホタルの初見の頃 <b>■</b> 函館、キアゲハの初見の頃	<b>28</b> 先負 <b>■</b> 管内、ホタルの初見の頃 <b>■</b> 金沢、カキの開花の頃	<b>29</b> 仏滅 <b>■</b> 青森、キアゲハの初見の頃 <b>■</b> 鹿児島、アジサイの開花の頃	<b>30</b> 大安 <b>■</b> 和歌山、トノサマガエルの初見の頃 <b>■</b> 宮崎、アジサイの開花の頃
<b>31</b> 赤口 <b>■</b> 和歌山、トノサマガエルの初見の頃 <b>■</b> 宮崎、アジサイの開花の頃						

和歌山の気象と暮らし、和歌山県庁ホームページ「和歌山県気象」を参照してください。掲載内容は2019年2月現在のものです。



写真: 佐藤

写真: 佐藤 - 一般社団法人気象予報士会

## 2020 6 水無月

九州から四国、本州へと順に梅雨に入る。曇雨天の日が続く。湿気が多くうっとうしく感じる。北海道の太平洋側は濃霧が発生し気温が上がらない。一方で北海道の日本海側はカラッと晴れて梅雨知らず。東日本の梅雨は長く降り続く「しとしと」と、西日本の梅雨は勢力の強い「ザーザー」の傾向がある。下旬は太陽高度が高く、梅雨の明け間には強い日差しが照りつける。真夏への暑さになることもしばしば。梅雨明けが本州に近づくと、沖縄では梅雨

### ウツボグサ

シソ科の多年草。全国に分布し、目当たりのよい草むらなどで見られる。初夏から夏にかけて筒状の紫色の花が固まって咲く。花穂を乾燥させたものは「夏枯草(かごそう)」と呼ばれ、利尿薬などとして利用される。花が矢を入れる道具である箭(うづば)に似ていることが名の由来。



### カッコウ

カッコウ科の鳥。夏鳥として九州以北に飛来し、本州の中部から北に特に多い。平地から山地の森林や草地などに生息。昆虫などを好んで食す。「カッコウ」という鳴き声が名前の由来となったとされる。ほかの鳥の巣に卵を産み、ヒナを育てさせる「托卵」を行うことでも知られる。



地名 (国記)	日付	日の出			日の入			夜間	千層
		1日	3日	5日	1日	3日	5日		
札幌 (国記)	1日	03:58	19:07	11:12	-	05:33	17:33		
	10日	03:55	19:13	05:14	19:23	-	12:34		
	20日	03:55	19:17	01:54	15:55	09:09	20:42		
東京	1日	04:27	18:52	00:58	13:20	07:35	19:17		
	10日	04:25	18:56	06:37	20:57	01:31	13:53		
	20日	04:25	19:00	03:32	17:16	10:27	22:49		
大阪	1日	04:46	18:06	03:27	15:34	10:21	21:37		
	10日	04:44	19:11	09:34	23:23	03:31	16:22		
	20日	04:45	19:14	05:15	19:17	-	12:39		
福岡 (下関)	1日	05:09	19:24	05:11	17:38	11:38	23:58		
	10日	05:08	19:28	00:45	11:47	05:58	18:20		
	20日	05:08	19:32	08:10	21:39	02:35	14:55		

日・SUN	月・MON	火・TUE	水・WED	木・THU	金・FRI	土・SAT
<b>6</b> 水無月 ■日付欄中の「経年、ホタルの初見の頃」などの季節現象の説明は、その日付過去30年間の観測平均日であることを示し、その日とそで近こりやすいことを示す一つの目安です。 気象観測開始(1875年) 天気が予報の開始(1894年)	1 先勝 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	2 友引 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	3 先負 札幌 東京 ● ① 大阪 福岡 ① ①	4 仏滅 札幌 東京 ● ① 大阪 福岡 ① ①	5 大安 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	6 赤口 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①
7 先勝 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	8 友引 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	9 先負 札幌 東京 ● ① 大阪 福岡 ① ①	10 仏滅 札幌 東京 ● ① 大阪 福岡 ① ①	11 大安 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	12 赤口 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	13 先勝 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①
14 友引 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	15 先負 札幌 東京 ● ① 大阪 福岡 ① ①	16 仏滅 札幌 東京 ● ① 大阪 福岡 ① ①	17 大安 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	18 赤口 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	19 先勝 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	20 友引 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①
21 大安 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	22 赤口 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	23 先勝 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	24 友引 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	25 先負 札幌 東京 ● ① 大阪 福岡 ① ①	26 仏滅 札幌 東京 ● ① 大阪 福岡 ① ①	27 大安 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①
28 赤口 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	29 先勝 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	30 友引 札幌 東京 ① ① 大阪 福岡 ① ①	記号の説明 ① 晴 ② 曇 ③ 雨 ④ 雪 ■日付欄中に表示した天気記号は、過去30年間で、その日に比較的好く観測された天気を示したものです。		夏と梅雨 ●北半球で太陽を見上げる角度が最も高くなる日が夏至。地面が受ける熱量は最大になるが、曇りや雨になるのは少し遅れて7月から8月。昼間の時間が最も長い日でもあるが、日本の大部分の地域は雨の季節。雲に覆われていたことがしばしば、昼の長さを実感できないことが多い。	
■日付欄中の「経年、ホタルの初見の頃」などの季節現象の説明は、その日付過去30年間の観測平均日であることを示し、その日とそで近こりやすいことを示す一つの目安です。					ゲンジボタル ●自然が豊かな水辺で見られるホタル。世界中では約2,000種以上、日本国内には約50種が生息している。なかでもゲンジボタルは広く知られている種の一つで、本州、四国、九州の水のきれいな川に生息している。黄緑色に発光するが、オスとメスでは走り方や光の強さが異なる。	

気象庁の気象予報士による、気象庁の気象予報士による気象予報の作成に協力した。掲載内容は2019年2月現在のデータです。



写真提供: 株式会社 三井

写真提供: 一般社団法人 日本気象協会

# 2020 7 文月

梅雨前線の活動が活発化し、豪雨が多発する時期。土砂災害が最も起こりやすい月でもある。太平洋高気圧の勢いが強まると、前線は北上に伴って、雨の地域から梅雨明けしていく。梅雨明け後、十日間程度は変化が持続することが多く、猛暑も一緒にやってくる。空梅雨で雨が降らない年もあれば、いつまでも梅雨前線が停滞し、ぐずついた天気が続く年もある。東北の太平洋側に「やませ」と呼ばれる冷湿な北風が吹き込み、低温が続く。梅雨の前期にあたりと冷害が発生する。

## ヤマユリ

ユリ科の多年草。主に本州の中部地方以北に分布。山地や草地に自生するほか、觀賞用としても栽培されてきた。夏に芳香のある20cmほどの白い大輪の花を咲かせ、山野を彩る。花は横向きに開き、花弁は先端が反り返り、中央に黄色い筋と赤褐色の斑点が入る。



## オコジョ

イタチ科の動物。北海道と本州中部以北の山地から高山地帯に生息。肉食であり、主にネズミや鳥、昆虫などを捕食。愛らしい見た目が気性は荒く、自分より大きい野ウサギを襲うことも。夏毛は茶色、冬毛は尾の先を残して全身が白。環境の変化により生息数は減少傾向にある。



地名	日付	日の出	日の入	満潮	干潮
札幌 (函館港)	1日	03:59	19:18	12:49	06:17 17:35
	10日	04:05	19:15	05:49	19:22 00:11 12:49
	20日	04:13	19:08	02:07	16:24 09:34 21:05
東京	1日	04:29	19:01	00:38	14:35 07:54 19:45
	10日	04:33	18:59	07:12	20:49 01:54 14:06
	20日	04:40	18:54	03:47	17:49 10:51 23:16
大阪	1日	04:49	18:15	03:03	16:59 10:23 22:02
	10日	04:53	18:14	09:28	23:17 04:02 16:24
	20日	04:59	18:09	05:34	19:41 00:11 13:00
福岡 (下関港)	1日	05:12	18:33	05:20	18:44 - 12:07
	10日	05:16	18:31	00:51	12:17 06:18 18:35
	20日	05:22	18:27	08:32	22:06 02:56 15:17

日・SUN	月・MON	火・TUE	水・WED	木・THU	金・FRI	土・SAT
<b>1</b> 先負 <small>仙台、ホタルの初見の頃 長野、ニイニゼミの初鳴の頃</small>	<b>2</b> 凶嵐 <small>仙台、アジサイの観花の頃 仙台、キキョウの観花の頃</small>	<b>3</b> 大安 <small>奈良、ニイニゼミの初鳴の頃 昭和47年7月新用</small>	<b>4</b> 赤口 <small>富山、ニイニゼミの初鳴の頃</small>	<b>5</b> 先勝 <small>盛岡、ホタルの初見の頃 福井、キキョウの観花の頃</small>	<b>6</b> 友引 <small>高知、クマゼミの初鳴の頃 秋田、アジサイの観花の頃</small>	<b>7</b> 先負 <small>高知、ヒグラシの初鳴の頃</small>
<b>8</b> 凶嵐 <small>甲府、ニイニゼミの初鳴の頃 福岡、アジサイの観花の頃</small>	<b>9</b> 大安 <small>松江、ヒグラシの初鳴の頃 宮城、アブラゼミの初鳴の頃</small>	<b>10</b> 赤口 <small>奈良、サルスベリの花の頃 津、ニイニゼミの初鳴の頃</small>	<b>11</b> 先勝 <small>高知、ミンミンゼミの初鳴の頃 新潟、ニイニゼミの初鳴の頃</small>	<b>12</b> 友引 <small>大分、サルスベリの花の頃 平成16年7月新用-福島県新用</small>	<b>13</b> 先負 <small>鳥取、ヒグラシの初鳴の頃 伊東半島記録火(1989年)</small>	<b>14</b> 凶嵐 <small>鳥取、アブラゼミの初鳴の頃 福岡、ヒグラシの初鳴の頃</small>
<b>15</b> 大安 <small>仙台、ヒグラシの初鳴の頃 福岡、ヤマハハリの観花の頃</small>	<b>16</b> 赤口 <small>長崎、ヒグラシの初鳴の頃 平成19年新用-新潟県中越中越地震</small>	<b>17</b> 先勝 <small>山形、キキョウの観花の頃</small>	<b>18</b> 友引 <small>西宮地方、梅雨明けの頃 昭和39年7月山形-陸奥新用</small>	<b>19</b> 先負 <small>奈良、アブラゼミの初鳴の頃 岡山、サルスベリの花の頃</small>	<b>20</b> 凶嵐 <small>大分、ヒグラシの初鳴の頃 熊谷、サルスベリの花の頃</small>	<b>21</b> 赤口 <small>新潟、アブラゼミの初鳴の頃 関東甲信地方、梅雨明けの頃</small>
<b>22</b> 先勝 <small>新潟、シオカトンボの初見の頃 甲府、アブラゼミの初鳴の頃</small>	<b>23</b> 友引 <small>昭和57年7月新用 横浜、ヒグラシの初鳴の頃</small>	<b>24</b> 先負 <small>富山、ヒグラシの初鳴の頃 広島、サルスベリの花の頃</small>	<b>25</b> 凶嵐 <small>岡山、ヒグラシの初鳴の頃 岡山、サルスベリの花の頃</small>	<b>26</b> 大安 <small>長野、ヤマハハリの観花の頃 新潟、ミンミンゼミの初鳴の頃</small>	<b>27</b> 赤口 <small>静岡、ツクツクカクシの初鳴の頃 福岡、サルスベリの花の頃</small>	<b>28</b> 先勝 <small>福岡、ミンミンゼミの初鳴の頃 福島、ヤマハハリの観花の頃</small>
<b>29</b> 友引 <small>茨城、アブラゼミの初鳴の頃</small>	<b>30</b> 先負 <small>宮崎、サルスベリの花の頃</small>	<b>31</b> 凶嵐 <small>宇都宮、サルスベリの花の頃 平成5年8月新用</small>	<small>オホーツク海高気圧 ●オホーツク海に中心をもつ高気圧。高気圧から吹き出す風は冷たく湿っている。勢力を広げたときは北海道から本州中部を襲う。盛衰に振り出すと、東北地方の太平洋側に「やませ」と呼ばれる冷たい北風が吹き、気温と日照不足により冷夏の元凶になる。</small>			

初日の出の時刻は各都道府県の気象庁発表の時刻を参考にしています。掲載内容は2019年2月現在のものです。





写真: 藤原 隆夫

写真: 藤原 隆夫

# 2020 8 葉月

花火大会や夏祭りなどが行われる夏の盛り。各地で真夏日や猛暑日、熱帯夜が続く。体調を崩しやすいため、近年は高温化が顕著になり猛暑日の日数が増えている。関西はクマゼミ、関東ではアブゼミの鳴き声がじきにやがて太平洋高気圧に覆われて晴天が多いが、上空に寒気が入ると大気の状態は不安定になる。午後には入道雲が大きく伸び上がり、夕立をもたらす。台風は発生数が多い時期。夏台風は動きが遅く、進路が定まらないものが多い。

## ヒマワリ

キク科の一年草。原産地は北米。主に花壇や庭などで観賞用に栽培される。盛夏に大輪の花を咲かせることでお馴染み。黄色い花弁は一枚一枚が扇しべのない舌状花。中心の黒い部分は、雄雄どちらの機能も持つ筒状花で、花が咲いた後に種ができる。種は油や食用として加工される。



## オニヤンマ

オニヤンマ科の昆虫。全国の平地や低地、小川や渓流の周辺に生息。日本のトンボの中では最大種で、黒い体に黄色い横縞の模様が特徴的。成虫は夏季に発生し、ハエやハチなどの昆虫を空中で捕食する。幼虫は水底の砂泥や落ち葉の下に潜んでおり、数年かけて成虫に成長する。



地名	日付	日の出	日の入	満潮	干潮
札幌 (函館港)	1日	04:25	18:56	00:15	15:14
	10日	04:35	18:44	06:56	19:20
東京	1日	04:46	18:30	03:32	16:55
	10日	04:56	18:36	08:24	20:43
大阪	1日	04:49	18:45	01:53	16:37
	10日	05:04	18:24	05:08	18:25
福岡 (下関港)	1日	05:08	19:00	03:58	18:53
	10日	05:15	18:52	10:51	23:09
	20日	05:22	18:40	07:09	20:17
	30日	05:31	19:18	07:02	20:53
	10日	05:37	19:10	00:42	12:57
	20日	05:44	18:59	09:53	22:51

日・SUN	月・MON	火・TUE	水・WED	木・THU	金・FRI	土・SAT
<b>1</b> ■日付欄の中の山形、サルベリの開花の頃などの季節現象の説明は、その日が過去30年間の観測平均日であることを示し、その頃そこで起こりやすいことを示す一つの目安です。 記号の説明 ● 晴 ● 曇 ● 雨 ● 雪 ■日付欄の中に表示した天気記号は、過去30年間で、その日に比較的よく現れた天気を示したものです。	<b>2</b> 赤日 新潟、サルベリの開花の頃 大分、ヤマハギの開花の頃	<b>3</b> 先勝 静岡、サルベリの開花の頃 福井、ヤマハギの開花の頃	<b>4</b> 友引 熊本、ヤマハギの開花の頃 仙台、ヤマハギの開花の頃	<b>5</b> 先負 福井、ミンミンゼミの初鳴の頃	<b>6</b> 仏滅 所行、ツクツクホウシの初鳴の頃 富山、ミンミンゼミの初鳴の頃	<b>7</b> 大安 1977年有珠山噴火 宇都宮、ミンミンゼミの初鳴の頃
<b>8</b> 赤日 和歌山、ツクツクホウシの初鳴の頃 愛媛、アブサイの開花の頃	<b>9</b> 先勝 静岡、ミンミンゼミの初鳴の頃 金沢、ススキの開花の頃	<b>10</b> 友引 山の日 松江、ツクツクホウシの初鳴の頃	<b>11</b> 先負 仙台、サルベリの開花の頃 所行、ヤマハギの開花の頃	<b>12</b> 仏滅 鏡子、ツクツクホウシの初鳴の頃 仙台、ススキの開花の頃	<b>13</b> 大安 宇都宮、エンマコオロギの初鳴の頃 名古屋、ツクツクホウシの初鳴の頃	<b>14</b> 赤日 山形、エンマコオロギの初鳴の頃 山形、アキアカネの初鳴の頃
<b>15</b> 先勝 新潟、ツクツクホウシの初鳴の頃 秋田、サルベリの開花の頃	<b>16</b> 友引 長野、ススキの開花の頃 鏡子、ヤマハギの開花の頃	<b>17</b> 先負 福島、ツクツクホウシの初鳴の頃	<b>18</b> 仏滅 福岡で最も深いアブラゼミの初鳴 (1988年)	<b>19</b> 先勝 北海道地震 (1961年) 長野、ツクツクホウシの初鳴の頃	<b>20</b> 友引 水戸、エンマコオロギの初鳴の頃 名古屋、エンマコオロギの初鳴の頃	<b>21</b> 先負 天気がはじめて新暦に異変 (1924年) 高松、ススキの開花の頃
<b>22</b> 仏滅 富山、ヤマハギの開花の頃 高松、ススキの開花の頃	<b>23</b> 赤日 大分 熊本、ススキの開花の頃	<b>24</b> 赤日 二日十日 先勝 熊本、ススキの開花の頃	<b>25</b> 先勝 福岡、ヤマハギの開花の頃 甲府、ススキの開花の頃	<b>26</b> 友引 津、ヤマハギの開花の頃 東京、ヤマハギの開花の頃	<b>27</b> 先負 静岡、ススキの開花の頃 青森、ススキの開花の頃	<b>28</b> 仏滅 山形、ヤマハギの開花の頃 富山、ススキの開花の頃
<b>29</b> 大安 新潟、ススキの開花の頃						

気象庁の改正により、1977年9月1日～1988年3月31日までの観測データは、気象庁が2019年2月現在0.4℃で、



2020年9月

2020年9月1日～9月30日 日本気象協会

# 2020 9 長月

ススキの穂が秋風にたなびく頃。稲穂が深々としていく。赤トンボが里にも空を見せ、草むらからはコロコロの鳴き声が聞こえるようになる。太平洋高気圧は弱まり、上旬は残暑があっても、下旬には過ごしやすくなる。秋雨前線が停滞すると曇雨大が続く。秋の長月の雨雲が、海面側の雨雲を上回る地域も少なくない。かつては大型台風がたびたび来襲し、列島に大被害を残した。秋の台風は動きが速く、強い風雨による被害が多い。

## ケイトウ

ヒス科の一年草。インドや熱帯アジアが原産とされ、観賞用に栽培される。夏から秋にかけて、赤や黄、橙などの鮮やかな花を咲かせ、花をニワトリのときかに見立て「鶏頭」の名がついたとされる。乾燥させた花を「鶏冠花(けいかんか)」と呼び、生薬として下痢止めなどに用いる。



## サンマ

サンマ科の魚。日本各地の沿岸に分布。春から夏にかけてオホーツク海周辺まで北上し、8月の中旬から太平洋側を南下し始める。群れを成して海面近くを回遊する。食用魚として親しまれ、北海道、三陸、房総など有名な産地である。旬は秋。脂が乗って美味とされ、秋の味覚の代表的な存在。



地名	日付	日の出	日の入	満潮	干潮		
札幌 (道庁庁舎)	1日	04:59	18:10	02:12	15:52	09:18	21:12
	10日	05:09	17:54	08:27	19:13	02:07	12:51
東京	20日	05:19	17:36	04:59	17:03	11:04	23:32
	1日	05:13	18:08	03:48	17:16	10:39	22:53
大阪	10日	05:20	17:56	10:02	20:27	03:20	14:45
	20日	05:27	17:41	06:35	18:40	00:26	12:45
福岡 (下関港)	1日	05:31	18:25	05:46	18:03	00:02	12:35
	10日	05:37	18:12	-	20:06	06:37	-
	20日	05:45	17:58	08:33	20:47	02:22	14:42
	1日	05:52	18:44	08:43	21:46	02:37	14:55
	10日	05:58	18:32	00:23	13:54	07:48	19:29
	20日	06:05	18:18	11:11	23:16	04:52	17:12

日・SUN	月・MON	火・TUE	水・WED	木・THU	金・FRI	土・SAT
<b>1</b> 友引 関東大震災(1923年) 舞鶴、ヤマハビの開花の前線	<b>2</b> 先負 盛岡で最も早いモズの初鳴(1960年)	<b>3</b> 仏滅 横浜、エンマコロロの初鳴 高松、ヤマハビの開花の前線	<b>4</b> 大安 宇都宮、アキアカネの初見の前線 水戸、ススキの開花の前線	<b>5</b> 土曜 福井、ススキの開花の前線 第3宮古島台風(1966年)	<b>6</b> 先勝 旭川で最も早い初冠雪(旭岳、1925年)	<b>7</b> 友引 神戸、ヤマハビの開花の前線 舞鶴、アキアカネの初見の前線
<b>8</b> 先負 大原、ススキの開花の前線 沖永良部島台風(1977年)	<b>9</b> 仏滅 津、ススキの開花の前線 岐阜、ヤマハビの開花の前線	<b>10</b> 大安 宮崎、モズの初鳴の前線 松江、ススキの開花の前線	<b>11</b> 土曜 熊本、モズの初鳴の前線	<b>12</b> 先勝 広島、ヤマハビの開花の前線	<b>13</b> 友引 奈良、ヤマハビの開花の前線 前橋、ヒガンバナの開花の前線	<b>14</b> 先負 南大東島、ヒガンバナの開花の前線 静岡、ススキの開花の前線
<b>15</b> 仏滅 第2室戸台風(1961年) 福岡、モズの初鳴の前線	<b>16</b> 大安 静岡、ヒガンバナの開花の前線 徳島、ススキの開花の前線	<b>17</b> 友引 秋田、モズの初鳴の前線 高松、ススキの開花の前線	<b>18</b> 先負 静岡、アキアカネの初見の前線 甲府、モズの初鳴の前線	<b>19</b> 仏滅 名古屋、ヒガンバナの開花の前線 富山、モズの初鳴の前線	<b>20</b> 大安 奈良、モズの初鳴の前線 名古屋、モズの初鳴の前線	<b>21</b> 土曜 敬老の日 富山、ヒガンバナの開花の前線 岐阜、モズの初鳴の前線
<b>22</b> 先勝 秋分の日 石川県、ススキの開花の前線 第3宮古島台風(1966年)	<b>23</b> 友引 福岡、ススキの開花の前線 仙台、モズの初鳴の前線	<b>24</b> 先負 和歌山、モズの初鳴の前線 山形、モズの初鳴の前線	<b>25</b> 仏滅 旭川、初冠雪(旭岳)の前線 奈良、アキアカネの初見の前線	<b>26</b> 大安 伊勢湾台風(1969年) 松江、モズの初鳴の前線	<b>27</b> 土曜 福岡、モズの初鳴の前線 長崎、ススキの開花の前線	<b>28</b> 先勝 津、アキアカネの初見の前線 下関、モズの初鳴の前線
<b>29</b> 友引 京都、モズの初鳴の前線	<b>30</b> 先負 福井、アキアカネの初見の前線 熊本、モズの初鳴の前線	防災の日●9月1日は防災の日である。自然災害に対する認識を深め、それらに対処するための準備をする日として、1960年に制定された。この日は、1923年に関東大震災が発生したことにちなんでいる。また、1982年から9月1日を含む1週間を「防災週間」と定めている。		予報円●台風の進路予報で、中心が列強すると予想される範囲を円で示したものを「予報円」という。円の中に台風の中心が入る確率は70%。予報円の大きさは、予報精度の向上に伴い見直され、小さくなっていく。円の大きさは、台風が大きさとは無関係である。		

気象庁の改正により、1920年以降の気象データは一部変更されたことにより、掲載内容は2019年2月現在のものとさせていただきます。



2020年10月号

2020年10月号

# 2020 10 神無月

秋の長雨が終わわり、移動性高気圧に覆われるとさわやかな秋晴れになる。空には、いわし雲やひつじ雲が浮かんでいる。天気は、3〜4日周期で変化していき、北日本や中部山岳地帯では朝晩の冷え込みが厳しくなり、盆地では霧がたち、山では紅葉が始まる。夏の暑さで疲れた身体に、栄養をつけて冬に備えること。秋刀魚や柿、キノコなど、旬の味を楽しめる。

## アラカシ

ブナ科の常緑高木。主に本州の宮城県以西に分布。高さは20mほどになり、山野に自生するほか、庭木などにも植えられる。葉は光沢があり濃緑色、上半分に鋸歯がある。秋にはドンギリとしてお馴染みの堅果をつける。材は堅く、建材として床や柱、家具などに用いられる。



## イチモンジセセリ

セセリチョウ科の昆虫。全国に分布し、河川や草地などに生息する。後ろ翅(びわ)の裏面に白い斑点が一文字に連なるのが特徴。幼虫の姿のまま越冬。イネ科の植物などを食草とし、「イネツトムシ」とも呼ばれ害虫とされる。成虫は春と夏に発生し、アザミ、キタ、ハギなどの蜜を吸う。



地名	日付	日の出	日の入	満潮	干潮
札幌 (函館港)	1日	05:32	17:16	02:54	15:29
	10日	05:42	17:00	11:03	19:00
	20日	05:54	16:44	05:43	16:55
東京	1日	05:36	17:25	04:21	16:59
	10日	05:43	17:12	11:43	20:08
	20日	05:52	16:59	07:19	18:25
大阪	1日	05:53	17:42	06:12	18:53
	10日	06:00	17:30	-	16:44
	20日	06:08	17:17	09:20	20:37
福岡 (下関港)	1日	06:13	18:03	09:01	21:36
	10日	06:19	17:51	00:25	14:57
	20日	06:27	17:39	11:52	23:12

日・SUN	月・MON	火・TUE	水・WED	木・THU	金・FRI	土・SAT
<b>1</b> 晴 石巻、ヒガンバナの初開花の頃 下関、ススキの開花の頃	<b>2</b> 大安 大分でも遅いヤマハハビの開花 (1957年)	<b>3</b> 赤口 神戸、モズの初開花の頃 稚内、初冠雪 (利尻山) の頃	<b>4</b> 先勝 静岡、モズの初開花の頃	<b>5</b> 友引 足利、モズの初開花の頃 金沢、モズの初開花の頃	<b>6</b> 先負 広島、モズの初開花の頃 鳥取県西部地域 (2000年)	<b>7</b> 仏滅 南大東島でも遅いヒガンバナの開花 (1996年)
<b>8</b> 大安 宮古島、サンバの南下の初開花の頃 阿久根台風 (1945年)	<b>9</b> 赤口 名古屋、アキアカネの初開花の頃 那珂、初冠雪	<b>10</b> 先勝 那覇、ススキの開花の頃 熊谷、サザンカの開花の頃	<b>11</b> 友引 石巻島、サンバの南下の初開花の頃 宇都宮、サザンカの開花の頃	<b>12</b> 先負 甲府でも最も早い初冠雪 (1922年)	<b>13</b> 仏滅 秋田、モズの初開花の頃 那珂、初冠雪	<b>14</b> 大安 ルース台風 (1951年)
<b>15</b> 赤口 新潟、初冠雪 (越前赤松) の頃 旭川、初冠雪の頃	<b>16</b> 先勝 前橋、サザンカの開花の頃 札幌、初冠雪 (手稲山) の頃	<b>17</b> 先負 金沢、初冠雪 (白山) の頃 青森、初冠雪 (八甲山) の頃	<b>18</b> 仏滅 那珂、カエデの紅葉の頃 山形、初冠雪 (月山) の頃	<b>19</b> 大安 函館、初冠雪の頃	<b>20</b> 赤口 南大東島、ススキの開花の頃 山形、サザンカの開花の頃	<b>21</b> 先勝 青森、初冠雪 (岩木山) の頃
<b>22</b> 友引 山形、初冠雪 (朝日山) の頃 長野、初冠雪 (東方湯山) の頃	<b>23</b> 先負 名古屋、ススキの開花の頃 旭川、初冠雪の頃	<b>24</b> 仏滅 仙台、初冠雪 (蔵王山) の頃	<b>25</b> 大安 前橋、初冠雪 (横須賀) の頃 那珂、初冠雪	<b>26</b> 赤口 前橋、初冠雪 (仙ノ倉山) の頃 富山、サザンカの開花の頃	<b>27</b> 先勝 札幌、初冠雪の頃 盛岡、初冠雪の頃	<b>28</b> 友引 長野、初冠雪の頃 滝尾台風 (1931年)
<b>29</b> 先負 青森、初冠雪の頃 函館、カエデの紅葉の頃	<b>30</b> 仏滅 山形、初冠雪の頃 福島、イチゴの紅葉の頃	<b>31</b> 大安 函館、イチゴの紅葉の頃 札幌、初冠雪の頃				

初冠雪の発生を以て、10月19日(月)が最も遅い日と推定。掲載内容は2019年2月現在のものです。



写真: 佐藤 隆夫

写真: 佐藤 隆夫

# 2020 11 霜月

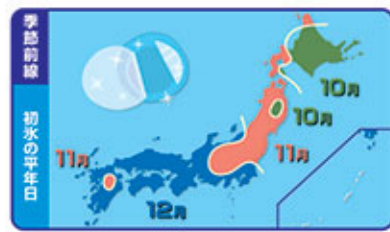
「木枯らし一歩」が吹いて、平地でも朝晩の冷え込みが厳しくなってくる。紅葉が山から下り、市街地でイチョウやモミジが色付いて、秋は終わりを迎える。北国からは初霜や初氷の便りが届き、高い山の頂は雪化粧する。この時期の寒さはまだ一時的で、「小春日和」の暖かな日差しには、ほっとする。農家では収穫物を売ったり、雪国では雪圍いや雪吊りをしたりと冬支度に忙しい時期。ナベツルなどの渡り鳥が、田んぼで羽を休める姿も見られる。

## リンゴ

バラ科の落葉高木。明治時代に日本に植栽され、青森県や長野県で多く栽培される。品種改良を繰り返して、「ふじ」や「つがる」など多くの品種が生まれた。果実の大部分は花托が成長した偽果。広く食用にされ、秋から冬にかけてが旬。春に白に淡紅色を帯びた五弁花をつける。

## セグロカモメ

カモメ科の鳥。冬鳥として秋から冬にかけて日本全国に飛来し、越冬。春には海岸や河口で見られる。「背黒」は名が付くが、背面は灰色。冬羽は頭部に同色の斑が混ざる。嘴(くちばし)は黄色で、先の下側に赤い斑点がある。雑食で魚や動物を捕食するほか、魚の死骸なども食べる。



地名	日付	日の出		日の入		日照		千時	
		時	分	時	分	時	分	時	分
札幌 (国営地)	1日	06:09	16:27	03:56	15:22	09:27	22:09		
	10日	06:21	16:16	12:15	22:42	04:48	17:48		
	20日	06:33	16:07	07:22	17:47	00:26	11:58		
東京	1日	06:03	16:46	05:18	16:58	11:12	23:31		
	10日	06:12	16:38	-	13:39	06:16	19:58		
	20日	06:22	16:31	09:02	19:01	01:49	14:03		
大阪	1日	06:18	17:04	07:13	18:55	01:01	12:58		
	10日	06:27	16:57	-	16:23	08:47	23:33		
	20日	06:37	16:51	11:57	18:20	04:25	16:19		
福岡 (下笠地)	1日	06:37	17:28	09:46	21:31	03:25	15:38		
	10日	06:45	17:19	03:58	17:37	10:48	23:47		
	20日	06:55	17:13	-	13:32	06:20	18:42		

日・SUN	月・MON	火・TUE	水・WED	木・THU	金・FRI	土・SAT
1 赤口 空襲、初霜の頃 山形、初氷の頃	2 先勝 秋田、初霜雪(太平山)の頃 青森、イチョウの紅葉の頃	3 友引 文化の日 前橋、初霜雪(武蔵山)の頃 加川、カエデの紅葉の頃	4 先負 稚内、初氷の頃 山形、イチョウの紅葉の頃	5 仏滅 長野、初氷の頃 福井、サザンカの桜花の頃	6 大安 青森、初霜の頃 仙台、初霜雪(紫ヶ谷)の頃	7 赤口 宇都宮、初氷の頃 日光、初霜の頃
8 先勝 秋田、カエデの紅葉の頃 盛岡、カエデの紅葉の頃	9 友引 福島、初霜の頃 新潟、イチョウの紅葉の頃	10 先負 金沢、サザンカの桜花の頃 仙台、初霜の頃	11 仏滅 むつ、初霜の頃 秋田、初霜の頃	12 大安 福岡、イチョウの紅葉の頃 新潟、カエデの紅葉の頃	13 赤口 福島、カエデの紅葉の頃 舞鶴、イチョウの紅葉の頃	14 先勝 鳥取、初霜雪(湯八山)の頃 神戸、イチョウの紅葉の頃
15 仏滅 新潟、イチョウの紅葉の頃 昭和61年伊豆大島噴火	16 大安 藤原、初霜雪(伊波山)の頃 前橋、初霜の頃	17 赤口 広島、イチョウの紅葉の頃 雲仙岳噴火(1990年)	18 先勝 仙台、イチョウの紅葉の頃 奈良、カエデの紅葉の頃	19 友引 藤原、初霜雪(比良山)の頃	20 先負 広島、カエデの紅葉の頃 富山、カエデの紅葉の頃	21 仏滅 静岡、イチョウの紅葉の頃 仙台、初霜の頃
22 小満 大分 鳥取、イチョウの紅葉の頃 津、サザンカの桜花の頃	23 赤口 勲労感謝の日 熊本、イチョウの紅葉の頃 前橋、イチョウの紅葉の頃	24 先勝 福井、初霜の頃 新潟、イチョウの紅葉の頃	25 友引 原野、カエデの紅葉の頃 新潟、初霜の頃	26 先負 徳島、カエデの紅葉の頃 北伊豆地震(1930年)	27 仏滅 東京、カエデの紅葉の頃 富山、クワの紅葉の頃	28 大安 新潟、カエデの紅葉の頃 熊子、イチョウの紅葉の頃
29 赤口 京都、初氷の頃 岡山、カエデの紅葉の頃	30 先勝 大分、イチョウの紅葉の頃 藤原、イチョウの紅葉の頃	<p>■日付欄の中の「空襲、初霜の頃」などの季節現象の説明は、その日が過去30年間の観測平均日であることを示し、その頃そこで起こりやすいことを示す一つの目安です。</p>		<p>記号の説明</p> <p>● 晴 ● 曇 ● 雨 ● 雪</p> <p>■日付欄の中に表示した天気記号は、過去30年間で、その日に比較的好く観測された天気を示したものです。</p>		<p>時雨●晩秋から初冬にかけて、雨や雪が断続的に降る天気を「時雨(しづれ)」と呼ぶ。冷たい北西季節風が日本海を吹き渡る時、暖かな海面から水蒸気が蒸発して積雲が発生する。この雲が日本海側の平野や山沿いに次々とやってきて雨や雪を降らせる。何日か続いて大雨になることもある。</p>

気象庁の気象予報士による。気象庁の気象予報士による。気象庁の気象予報士による。気象庁の気象予報士による。



大塚 文雄

原田 隆一・NHK気象予報士

# 2020 12 師走

大陸からの北西の季節風が吹くたびに日本海側では冷たい雨や雪が降り、雪の降る日の割合は徐々に増え、東北や北陸の平地で積雪となる。年末に寒流がやってくると、沿岸の交通機関に影響が出る。太平洋側では晴天が多くなり、空気が乾燥する。暖房を使用した室内は、さらに空気が乾いて、乾燥が起これりやすい。このため、風邪が流行し始めるのもこの時期。夜更にはオゾン層が見える星がまたたくまに見え、星の上空の強風などによって空気が乱れ、光が屈折することによる。

### タチバナモドキ

バラ科の常緑低木。明治時代に中国から渡来したとされる。生け垣や鉢植えとして植栽。秋から冬にオレンジ色の扁球形の果実をつける。その形や色がミカン科のタチバナに似ていることが、名の由来とされる。同属のトキワサンゼンなどとまとめてビラカンサとも呼ばれる。



### ホンモロコ

コイ科の淡水魚。琵琶湖の固有種だが、奥多摩湖や山中湖などにも移殖されている。プランクトンを餌とし、春から初夏にかけて産卵する。食用では高級魚として扱われ、旬は冬。塩焼きや天ぷら、煮付けなどで食べられる。環境の変化や外来種の影響で、個体数は減少している。



地名	日付	日の出	日の入	満潮	干潮		
札幌 (国営旭川)	1日	06:46	16:01	04:24	15:12	09:25	22:21
	10日	06:55	16:00	11:33	-	04:51	18:22
	20日	07:02	16:02	07:43	18:21	00:55	12:53
東京	1日	06:32	16:28	05:49	16:46	11:22	23:41
	10日	06:40	16:28	00:42	13:13	06:39	20:04
大阪	1日	06:46	16:31	09:15	19:42	02:13	14:42
	10日	06:47	16:47	07:50	18:37	01:17	13:00
福岡 (下関港)	1日	06:54	16:47	03:07	15:33	09:00	22:30
	10日	07:01	16:51	11:57	-	04:43	-
	20日	07:04	17:10	10:10	21:16	03:38	15:49
	10日	07:12	17:11	04:56	17:30	11:17	-
	20日	07:18	17:14	00:19	13:47	06:45	19:09

日・SUN	月・MON	火・TUE	水・WED	木・THU	金・FRI	土・SAT
<b>1</b> 友引 <small>金沢、初霜の頃 松山、初氷の頃</small>	<b>2</b> 先負 <small>富山、初霜の頃 松江、初氷の頃</small>	<b>3</b> 仏滅 <small>京都、カエデの紅葉の頃 宇都宮、イチヨウの紅葉の頃</small>	<b>4</b> 大安 <small>鳥取、初霜の頃 和歌山、カエデの紅葉の頃</small>	<b>5</b> 赤口 <small>松江、初霜の頃 熊本、イチヨウの紅葉の頃</small>	<b>6</b> 先勝 <small>山形、カエデの紅葉の頃 前橋、イチヨウの紅葉の頃</small>	<b>7</b> 友引 <small>広島、カエデの紅葉の頃 静岡、イチヨウの紅葉の頃</small>
<b>8</b> 先負 <small>佐賀、カエデの紅葉の頃 前橋、初冠雪(榛名山)の頃</small>	<b>9</b> 仏滅 <small>横浜、イチヨウの紅葉の頃 福井、カエデの紅葉の頃</small>	<b>10</b> 大安 <small>名古屋、カエデの紅葉の頃 鳥取、初氷の頃</small>	<b>11</b> 赤口 <small>大分、カエデの紅葉の頃 駒子、初霜の頃</small>	<b>12</b> 先勝 <small>大分、初氷の頃 岐阜、カエデの紅葉の頃</small>	<b>13</b> 友引 <small>広島、初氷の頃 津山、初霜の頃</small>	<b>14</b> 先負 <small>広島、初霜の頃 大塚、初氷の頃</small>
<b>15</b> 大安 <small>前橋、初霜の頃 津、カエデの紅葉の頃</small>	<b>16</b> 赤口 <small>福岡、初氷の頃 京都、カエデの紅葉の頃</small>	<b>17</b> 先勝 <small>高松、初冠雪(雲峰山)の頃 和歌山、カエデの紅葉の頃</small>	<b>18</b> 友引 <small>鳥取、初霜の頃 上野、初霜の頃</small>	<b>19</b> 先負 <small>前橋、カエデの紅葉の頃 和歌山、初霜の頃</small>	<b>20</b> 仏滅 <small>松山、カエデの紅葉の頃 神戸、初霜の頃</small>	<b>21</b> 大安 <small>徳島、初霜の頃 長崎、初氷の頃</small>
<b>22</b> 赤口 <small>佐賀、初霜の頃 静岡、カエデの紅葉の頃</small>	<b>23</b> 先勝 <small>高松、初霜の頃 安政東海地震(1854年)</small>	<b>24</b> 友引 <small>石巻、ツバキの開花の頃</small>	<b>25</b> 先負 <small>鹿児島、カエデの紅葉の頃 長崎、スイセンの開花の頃</small>	<b>26</b> 仏滅 <small>熊本、初霜の頃 スマトラ沖地震と巨津波(2004年)</small>	<b>27</b> 大安 <small>横浜、カエデの紅葉の頃 北陸地方に豪雪(1960年)</small>	<b>28</b> 赤口 <small>平成6年三陸はるか沖地震</small>
<b>29</b> 先勝 <small>福岡、スイセンの開花の頃 熊本、ツバキの開花の頃</small>	<b>30</b> 友引 <small>高知、初霜の頃 駒子、カエデの紅葉の頃</small>	<b>31</b> 先負 <small>水戸、初霜の頃</small>	<b>冬の雷</b> ●北陸など本州の日本海側では、夏より冬に雷が多い。全日本の平均の雷日数は、8月は3日だが、12月は8日。日本海の海面水温が比較的高く、上空に強い寒気が入る12月が年間でも最多になる。雷やあられが降る前触れとなることが多く「雷起こし」とも呼ばれる。	<b>冬至</b> ●二十四節気の一つで、一年の中で最も昼が短く、夜が長い日である。江戸時代から冬至の日には、柚子湯に入ったりかぼちゃを食べる風習がある。柚子やかぼちゃは免疫力を高める成分が多く含まれており、風邪を引きやすいこの時期に非常に効果的である。		

気象庁の気象予報士による、1981-2010年長期平均値に基づく気象予報。掲載内容は2019年12月現在のものです。